

「呉高専技術士九嶺会」が発足

初代会長に藤原氏(中国地下工業)就任

呉工業高等専門学校の卒業生等でつくる「呉高専技術士九嶺会」が発足した。14日に設立総会を呉市阿賀南にある同校で開催。会長には藤原哲宏氏(中国地下工業)を選出した。九嶺会は日本技術士会中国本部と連携しながら、科学技術の向上や呉高専の発展に資するた

めの諸活動を展開していく。設立総会には約40人が出席。開会挨拶に立った九嶺会設立準備会代表の藤原氏は「私は3期生。先輩方から経験に基づく知見、支援を求めるのは非常に難しかった。しかし、今は多くの卒業生がい

る。先輩方のこれまでに積み重ねてきた知識や経験を、学生等につないでいかなければ大きな損失になると考え、こういった会を立ち上げるほこびと

なった」と設立経緯にふれ、母校発展のための需要と供給を結びつける活動の展開」に理

解と協力を求めた。その後、会則を確認し、会長に藤原氏、副会長には鶏内敬三氏(アジア航測)と川端誠氏(福山コンサルタント)を選んだ。また、呉高専の森野数博校長と日本技術士会の大田一夫中国本部長が来賓祝辞。この中で森野校長は「入試の志願者の数や質も上がってきており、日本一の高専にしていきたいと考えている。呉高専をさらに発展させるためにも、この九嶺会による後進の指導には大きな期待をしている」と述べ、大田本部長は「母校愛に燃える皆さんが実際に技術士となって活躍している姿を学生や先生に見せることで、より説得力をも

つて、呉高専での技術士制度の普及、啓発が進展すると確信している」とメールを送った。設立総会では、このほかに、藤原会長による「石炭灰造粒物を用いた河口域干潟及び浅海域の底質環境改善手法」を演題とした記念講演や、卒業生による技術士の取得経緯に関する話題提供が行われ、総会終了後は呉阪急ホテル(呉市中央)で会員相互の親睦を図る懇親会も催された。

九嶺会は▽呉高専卒業生及び在学経験者で技術士試験合格者▽呉高専卒業生、在学経験者及び在校生で技術士補または修得技術者の有資格者▽呉高専の教職員(退職者含む)で技術士試験合格者の正会員・準会員・特別会員で構成。主に卒業生や在校生に対する技術士試験制度の普及活動をはじめ、講演会、講習会等を

開催する。1月12日現在の会員数は78会員。年会費は無料だが、行事参加費等は必要となる。



会長に選出された藤原氏

活動の展開」に理

解と協力を求めた。

その後、会則を確認し、

会長に藤原氏、副会長に

は鶏内敬三氏(アジア航

測)と川端誠氏(福山コン

サルタント)を選んだ。ま



出席者で記念撮影

呉高専卒業の技術士を中心に

「呉高専技術士九嶺会」設立

(公社) 日本技術士会

中国本部 (中区鉄砲町一

―二〇、大田一夫本部長)

に所属する、呉工業高等

専門学校(森野敦博校長)

卒業の技術士有志が中心

となり十四日、「呉高専技

術士九嶺会」を設立した。

日本技術士会中国本部

と連携し、

科学技術の

向上及び同

校の発展に

寄与する事

が目的。会

長には中国

地下工業(株)

の藤原哲宏

社長が就任

し、事務局はLFコンサ

ルトアント(西区三滝本町

一丁目二二一九、長原

基司代表)に置く。

会員数は現在七十八人

で、卒業生に限らず在学

経験者を含め、技術士試

験合格者または技術士

補・修習技術者の有資格

者や、同校教職員の技術

士試験合格者等で構成。

より多くの有志と活動し

たいと参加を呼びかけて

おり、会費は無料。「理系

最難関の国家資格」と称

される同資格を、主に卒

業生及び在校生に対して

普及するほか、講演会等

の啓発活動を展開する。

藤原会長は写真前列左

から三人目には「積み重

ねてきた知識や経験・技

術を伝え、需要と供給を

結びつける輪を広げた

い」と話している。

